キャラクター名
穂枝　鳴子

プレイヤー名

シンドローム	バロール ハヌマーン	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	UGNチルドレン
オプショナル	キュマイラ	年齢	17	性別	男
覚醒	生誕	衝動	飢餓	初期侵食率	31 %
出自	権力者の血統	経験	永劫の別れ	邂逅	秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	2	1	1			4
精神	3	0	0			3
社会	2	0	0			2

HP	25
行動値	11
(非装備時)	11
戦闘移動	16
全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	5		ＲＣ	1		交渉		
回避	3		知覚	2		意志			調達	4	
運転：			芸術：			知識：エロ	3		情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ナイフ		-1		2		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ウェポンケース	
応急手当キット	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
特権階級-ハイロード-	P	N		
片耳の男	P　執着	N　憎悪		
カシム（犬）	P　友情	N　不安		
女の匂い（性癖）	P 好奇心	N　嫌気		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	12	残り財産P：	6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
CR:ハヌマーン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：クリティカル値-(Lv)								
音速攻撃	2	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：攻撃の判定のダイス+(Lv)個								
ベーシックリサーチ	1	1	メジャー	-	-	-	-	
効果：情報：の判定のダイスを+(Lv+1)個								
時間凍結	1	5	イニシアチブ	至近	自身	自動成功	80%	
効果：イニシアティブプロセスに即座にメインプロセスを行える。このメインプロセスでは行動済みにならない。シナリオ1回まで使用できる。使用後にHPを20点消費する。								
ターゲットロック	2	3	セットアップ	視界	単体	自動成功	-	
効果：シーン間、対象への攻撃の攻撃力を+(Lv x 3)する。								
功性変色	2	3	セットアップ	視界	単体	自動成功	リミット	
効果：前提：ターゲットロック。ターゲットロックで上昇する攻撃力を+(Lv x 5)上乗せする。使用後、暴走を受ける								
偏差把握	1	-	メジャー	視界	シーン(選択)	自動成功	-	
効果：何が何処にあるか分かる								
高濃度酸素バブル	1	-	メジャー	至近	範囲(選択)	自動成功	-	
効果：空気ボンベ。								
真偽感知	1	2	メジャー	視界	単体	自動成功	-	
効果：YES、NOで嘘を判別								
鋭敏感覚	1	-	メジャー	-	-	自動成功	-	
効果：犬以上の嗅覚								
効果：								
効果：								
効果：								

（ほえだ　なるこ）
７歳から１２歳の間を犬のＡオーヴァード「カシム」と共に、日本の小さな都市「穂枝町」にある廃工場を占領し暮らしていた。
しかし、あるとき出会った「左耳のない男」に騙され、カシムがジャーム化する。左耳の無い男とジャーム化したカシムを止めるためにＵＧＮ穂枝市支部に協力を求めたが、それまでの暮らしで行ってきた行動が原因で始めは誰も手を貸してくれなかった。
だが、もの好きな穂枝市支部の二人のエージェントと町に住む一人のイリーガルの協力を得て、最後は左耳のない男の計画を阻止することが出来たがカシムは死亡、男は現在も逃亡中。
その後に行き場のない鳴子はＵＧＮチルドレンの養成所に入ることになった。

１２歳から現在まで。養成所にて訓練を受けるが、今までの戦闘の癖がなかなか抜けず（というより戦闘の度に暴走するので正す以前の問題）、しかし、養成所での成績は良かったため問題はないとされていた。
そんな評価をもらう鳴子に、同期のチルドレン候補生が嫉妬しているなか、その鳴子は資料室にて男性教官達の隠したエロ本を読み漁っていた（知識：エロ+3）。
この頃からよく訓練を体調不良で休むことが多くなる。（特に、女性教官、もしくは女性チルドレンとの実践訓練のある場合）。戦闘のために接近したときに、鳴子の嗅覚の鋭さが女性の香りに耐えられなかったのである。

普段は無口で人を寄せ付けない雰囲気を出している。なんなら睨んだり唸ったりで威嚇する。

鋭い嗅覚を持ち、その嗅覚で嘘を見抜いたり、健康状態を多少把握できる。…が、その嗅覚の鋭さと思春期のせいで女性特有の香りに発情する様になってしまった。
今回の演習に来る前にいた施設の資料室の一角で一部の教官達が隠していた大量の性的な書物を見つけてしまい普通のチルドレンがあまり身につけていない知識が身に付いた。